

事業承継の現状と センターの活動について

宮城県事業承継・引継ぎ支援センター

統括責任者 金井 清

令和7年12月9日
川崎町・蔵王町・村田町合同事業承継セミナー

○ 本日本話しする内容

大きく 4項目

- 1 事業承継の現状
- 2 事業承継・引継ぎ支援センター の活動について
- 3 事業承継相談での困った事例
- 4 皆様へのお願い

1 事業承継の現状

後継者不在率は改善に向かってはいるものの、依然として50%超。休廃業・解散件数については、増加傾向にあり、事業が黒字でも廃業を選択する企業が多く、事業承継のサポートが必要。赤字廃業件数も増加傾向にあり、事業承継が困難な事例もある。

<後継者不在率>

(%)

	2022年	2023年	2024年	2023年対比減少率
宮城県	60.3	59.2	55.9	▲3.3
東北平均	57.7	56.8	55.0	▲1.8
全国	57.2	53.9	52.1	▲1.8

(帝国データバンク：全国「後継者不在率」動向調査(2024年) より)

<休廃業・解散件数>

(件)

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2023年対比	
						増加件数	増加率
宮城県	912	825	810	939	1,036	97	10.3%
東北6県	3,671	3,611	3,271	3,564	4,067	503	14.1%
全国	56,103	54,709	53,426	59,105	69,019	9,914	16.8%

帝国データバンク：全国企業「休廃業・解散」動向調査(2024年) より)

1 事業承継の現状

不測の事態が生じる等代表者の高齢リスクが高まるなか、事業承継実施に向け、十分な期間を設けるなど周到な準備が必要となる。

<代表者平均年齢>

(歳)

	2000年	2010年	2020年	2023年	2024年	対前年	対2000年
宮城県	56.5	59.0	60.6	61.1	61.2	0.1	4.7
全国平均	56.6	58.4	60.1	60.5	60.7	0.2	4.1

(帝国データバンク：東北6県「社長年齢」分析調査(2024年)より)

<休廃業・解散時 代表者年齢>

(歳)

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	対前年	対2020年
平均年齢	69.5	70.3	71.0	70.9	71.3	0.4	1.8
ピーク年齢	72	72	75	74	75	1	3

(帝国データバンク：全国企業「休廃業・解散」動向調査(2024年)より)

<参考:センター相談受付、川崎町・蔵王町・村田町相談受付の代表者年齢>

	相談区分	70歳以上割合	最高齢
センター相談事業者	第三者承継	46.5%	95歳
	親族内承継	72.8%	101歳
うち川崎町・蔵王町・村田町事業者	第三者承継	40.0%	90歳
	親族内承継	66.7%	76歳

1 事業承継の現状

◆ M&Aが増える一方、M&A業者のトラブル増加

- 中小企業庁の登録M&A支援機関数(令和6年12月現在)

約2,900先(うち 税理士等士業専門家1,100先)

※ 何故多いか (増えたか)

1. 需要が増えた (お客が多い)
2. 儲かる (報酬の基準はない)
3. 規制がない。許認可もない (契約内容は自由)

◆ 注意すべきこと

- 1 事業者もM&A業者も、ともに**事業者**。(すべては契約)
 - … 消費者のような保護はない、解決は裁判
- 2 M&A業者の紛らわしい**名称**、「**〇〇センター**、**〇〇機構**」。
 - … 公的機関だと思ったら、おお間違い。

2 事業承継・引継ぎ支援センター の活動について

当センターは

- 事業承継専門の**国の支援機関**

(法律で、国が設置した、唯一の公的支援機関)

所管行政庁:中小企業庁

※ 宮城県センターは、平成24年(2012年)に開設

- 事業承継について、専門家による
相談と支援を、**無料**で受けられます。
- スタッフは、弁護士、公認会計士
(税理士)、金融機関OB等の専門家



2 事業承継・引継ぎ支援センター の活動について

当センターの実績 （開設以来の累計）

- **相談件数** **2,641件** （令和7年3月末現在）

事業の引渡し、引受け、従業員や親族への承継等様々数多くの相談実績。

- **M&A（第三者承継）**

支援成約実績 **192件** （令和7年3月末現在）

多くの県内事業者の皆様のM&A等をご支援。

（事業者の規模は、中小企業・小規模企業者・個人事業主と様々です）

2 事業承継・引継ぎ支援センター の活動について

● 相談件数推移と相談の種類

<件>

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平成24年度 からの累計
第三者承継(売)	80	90	142	190	187	1,146
第三者承継(買)	74	58	38	71	83	700
親族内承継他	26	101	139	133	114	795
合 計	180	249	319	394	384	2,641
成約(第三者)	17	21	22	28	28	192
完了(親族内)※	—	20	20	28	28	—

※ 「完了(親族内)」は、事業承継計画策定等支援の完了件数、令和3年度より実施

3 事業承継相談での困った事例

(1) 親族承継・従業員承継

A. いるけどいない後継者（思い込みの例）
子供はいる。社員もいる。

・・・しかし、話してみたら、継ぐ気も、
社長になる気もなかった。

B. 後継者への経営委譲が進まない
自分はまだまだ元気。

息子にはまだ任せられない。

・・・バトンタッチの時期が大事。

3 事業承継相談での困った事例

(2) 第三者承継

- A. 買い候補が出たとたん、希望価格をUP
自分の会社はもっと高く売れる。
外野の声(顧問〇〇士、にわか親族)
- B. 契約寸前で、おばあちゃんが泣いて反対。
・・・ 結果廃業、従業員は解雇

4 皆様へのお願い 事業承継の検討に 「早すぎる」はありません

もう今日から考え、**早く**相談しましょう

- 事業承継はとにかく先送りにしがち
(切羽詰まっていない)
- 承継には時間と計画が必要
- 後継者が独り立ちするためには、
「伴走期間」も必要
- 相手探しも、機会と出会い

◆お問い合わせ先

宮城県事業承継・引継ぎ支援センター

TEL 022-722-3884

受付：平日9:00～16:00

または、お近くの金融機関、商工会
議所、商工会等へ

ご清聴ありがとうございました。